

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 9 - 29

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		都市公園整備事業				
評価者	担当課名	建設水道課		担当係名	都市計画係	
	管理職	職名	課長		作成者	課長補佐
		氏名	大場利昭			氏名
事業の概要	都市公園の利用者の安全・安心を図るとともに、将来の改築に係るコストの低減を図るための長寿命化計画を策定すること、仮設トイレで老朽が進み汲み取り式である稲荷公園のトイレを水洗化とするための事業であります。				全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 21 年度 ~ 24 年度)	
事業費	国・道支出金				50,600 千円	
	地方債				27,000 千円	
	その他				千円	
	一般財源				5,900 千円	
事業費計					83,500 千円	
実施方法	直営	民間委託		その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武 ~ 生活環境・生活基盤の充実 ~				
	基本施策	18 住環境の整備				
	単位施策	3 公園・緑地の充実				
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	23,079 千円	千円	15,000 千円	15,000 千円
	地方債	千円	千円	千円	13,500 千円	13,500 千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	1,500 千円	1,500 千円
	合計	千円	23,079 千円	千円	30,000 千円	30,000 千円

583

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	都市公園の利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	都市公園環境(施設の老朽化等)の悪化。	都市公園数		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	都市公園の利用者が快適で安心して利用できる公園施設を目指す。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	平成21年度
		都市公園数/都市公園数の実績	目標値	4 箇所
			実績値	4 箇所
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	都市公園の利用者が快適で安心して利用できる公園施設が図られる。	目標年度		
		目標値		
		実績値		
		達成度		%
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
民間業者による委託・工事の実績	民間業者の入札により、4箇所の都市公園の長寿命化計画策定を委託し、また、稲荷公園トイレ建設も入札により実施した。			

### 3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	都市公園の利用者が、快適に安心して利用してもらうことと将来の改築に係るコストの低減を図るためには必要不可欠な事業で、町が担う必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、都市公園利用者の快適な利用環境の確保と将来の改築計画策定が図られた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	入札により事業費が抑制されたことは、効率的であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	誰もが利用できるトイレの快適性の確保と改築計画策定は、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価(A～D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 都市公園利用者の憩いの場として安全で快適に利用してもらうためには、長寿命化計画に基づき計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続 / 現状維持 都市公園の利用者が安全で快適に利用してもらうため、また、計画的に改築するためにも現状維持が適当である。		
--	--	--

\* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

### 5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--